

藻谷浩介氏講演「市民生活から見た土地の境界」

日 時：9月20日（月・祝）14：00～16：00

場 所：ハーバーラウンジB

内 容：土地の境界は位置の特定のための測量精度のみならず、その土地に暮らす人々の営みや地域の慣習等を踏まえ、土地制度の沿革や郷土史を詳しく把握することが必要である。県境の事例を含めた、土地の境界を考える上で必要な視点についての講演

講師紹介



1964年山口県生まれ。東京大学法学部卒業、米国コロンビア大学ビジネススクール修了（MBA〈経営学修士〉）。現在、（株）日本政策投資銀行 地域振興グループ 地域支援班 参事役、特定非営利活動法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク 理事長（無報酬）。

平成合併前3,200市町村の99.9%を巡歴し、地形・交通・産業・人口動態・通勤通学動態・郷土史等を詳細に把握している。NHKの歴史番組「知る楽 歴史は眠らない」の「県境の謎を行く」の語り手を努めた。

著書に、『デフレの正体 経済は「人口の波」で動く（角川新書）』、『実測！ ニッポンの地域力』（日本経済新聞出版社）などがある。

パネルディスカッション「暮らしの安全と登記制度」

～高度情報化社会における不動産登記制度のあり方～

日 時：9月21日（火）14：00～16：00

場 所：会議センター301

テーマ：安全で安心な社会インフラとしての次世代地籍制度のあり方

登壇者紹介（予定）

パネリスト：

秦慎也氏（法務省民事局民事第二課 地図企画官）、安藤暁史氏（国土交通省土地・水資源局 国土調査課課長補佐）、和田陽一氏（東京都北区まちづくり部まちづくり推進課主査）、碓井照子氏（奈良大学文学部地理学科教授）、海野敦郎氏（神奈川県土地家屋調査士会会長）

コーディネーター：藤木政和氏（日本土地家屋調査士会連合会常任理事）

司会：瀧下俊明氏（日本土地家屋調査士会連合会理事）

～ 地籍シンポジウム 2010 in Tokyo ～

テーマ：「ひと・とち・みらい・はーもにー」「地籍の可能性を考える」

日 時：平成22年10月3日（日）午後1時～午後6時（午前11時開場）

場 所：日比谷公会堂（東京都千代田区）

詳しくは、日本土地家屋調査士会連合会ホームページをご覧ください。



広報キャラクター
「地識くん」

ご来場、お待ちしております！